

えがお いっぱい



園長通信《4号》

平成30年11月21日
岡山市立庄内幼稚園



木の葉も舞い始め、運動会や遠足など楽しい思い出がいっぱいできた秋も終わりに近づいています。山や木々の色の移り変わり、日中の日差しの温かさや冷たい秋風など、季節の変化に子どもなりに気付いている姿も多く見られるようになりました。

さて、今回は、地域との交流会や地域開放日の様子を中心にお伝えしたいと思います。

(教育目標)
笑顔いっぱい幼稚園
○げんきな子ども
○やさしい子ども
○かんがえる子ども
○あいさつする子ども

地域の方と共に

園では、人とかかわる力の育ちに向けて、クラスの友達や異年齢の友達だけでなく、小学生や保育園児、地域の方との交流活動を積極的に進めています。親しい人から初対面の地域の方などさまざまな人とかかわれる機会や経験を通して、子ども達は相手に話をしたり聞いてもらったりする嬉しさや一緒に活動する楽しさを味わい、安心して活動したり自分の気持ちを伝えたりする姿が多く見られるようになってきています。また、相手のよさや優しさを知ったり、必要な言葉や態度を次第に身に付けたりなど、子ども達の貴重な経験の積み重ねにつながっています。

改めまして、地域の方々の園教育へのご理解ご協力に感謝申し上げます。

アイラブ交流会 ～高松農業高校生と芋ほりを楽しみました～

年長児が一学期に植えたサツマイモを収穫しました。久しぶりの再会に、「ちょっと恥ずかしい・・・」もじもじしていた子どももいましたが、優しく声をかけられたり手をつないでもらったりしているうちに、すっかり打ち解けて、にこにこ笑顔や歓声、楽しい会話が芋畑いっぱいに広がっていました。高松農業高校の皆さん、植え付けから収穫まで大変お世話になりました。



“わあ、デッカイお芋、もっと掘ろう。手伝って!”
“楽しかった! ありがとう”～さよならタッチをして見送ってもらいました～



地域の高齢者の方とふれ合って

高松高齢者教室(公民館主催)の方を園にお迎えして、幼稚園さくら組と保育園すみれ組の子ども達(4歳児)が、大好きな歌や踊りを披露したりふれ合い遊びを一緒に楽しんだりしました。「上手じゃ」「可愛いなあ」大きな拍手をもらったり、温かい眼差しや声かけをいただいたりして、子ども達はとても嬉しい気持ちや笑顔でいっぱいになりました。子ども達も“ほっこりにっこり”の楽しいひとときを過ごすことができました。



♪まつぼっくりがあつたとさ～“嬉しいなあ”手を握ってもらい、嬉しさと恥ずかしさが入り混じって・・・

庄内小学校との交流 ～1年生と一緒にチューリップ植え～

「花が咲いたら1年生だよ」給食試食会や就学時健康診断・卒業写真撮影を終え、「給食おいしかった!」「早く小学校へ行きたいな」と、早くも就学への期待が膨らんでいる年長組。小学校の先生と事前に話し合い、年間を通して計画的に小学校との連携を進めています。



また、昨年度から岡山市が進める岡山型一貫教育「子どもが輝く学びプロジェクト」の取組として、園公開保育(10/17 実施)や小学校公開授業(年3回実施)を通して、互いの保育・授業を参観し、子どもの様子や育てているの、小学校以降に向けた保育・授業の取組や改善等について話し合っています。今後も引き続き、豊かな交流活動となるよう取り組んでいきたいと思っています。

地域開放日

「友達とケーキを作ろう(年長)」
材料の選び方や作り方を相談する中で、相手の話を聞いたり自分の考えを話したりする姿が多く見られます



「縄遊びの活動(年少)」
まずは縄に触れて遊び、次第に跳ぶことに興味をもち、繰り返しかわるようになります

子ども達は遊びの中でいろいろなことを考え学んでいます。そして、この学びは小学校へつながる“豊かな学び”なのです。



「助け鬼をしよう(年長)」
“今日は宝を2個にしようよ” “チームの数は同じにした方がいい” みんなでより楽しくなる方法を話し合いながら、活動を進めていました



「ハサミのりを使って(年少)」
用具の扱い方に慣れ、自分なりに使いつつ遊ぶことを楽しむようになりました

この「えがお いっぱい」(園長通信)は庄内学区町内ホームページにも掲載していただいています。

<http://townweb.e-okayamacity.jp/shounai-r/>